200/300シリーズマネージドスイッチでのLink Layer Discovery Protocol(LLDP)メディアエンドポイントディスカバリ(MED)ネットワークポリシーの設定

目的

Link Layer Discovery Protocol(LLDP)は、ネットワーク管理者がマルチベンダー環境でネットワーク管理のトラブルシューティングと変更を行えるようにするプロトコルです。LLDP Media Endpoint Discovery(LLDP-MED)は、メディアエンドポイントデバイスをサポートするための追加機能を提供します。たとえば、音声やビデオなどのアプリケーション用のネットワークポリシーのアドバタイズメント、デバイスの場所の検出、トラブルシューティング情報などが可能です。LLDP-MEDネットワークポリシーは、音声やビデオなどのリアルタイムアプリケーションの一連の設定です。ネットワークポリシーは、接続されたメディアエンドポイントデバイスへの発信LLDPパケットに含まれます。次に、MEDは受信したネットワークポリシーで指定されているとおりにトラフィックを送信します。この記事では、200/300シリーズマネージドスイッチでLLDP MEDネットワークポリシーを設定する方法について説明します。

適用可能なデバイス

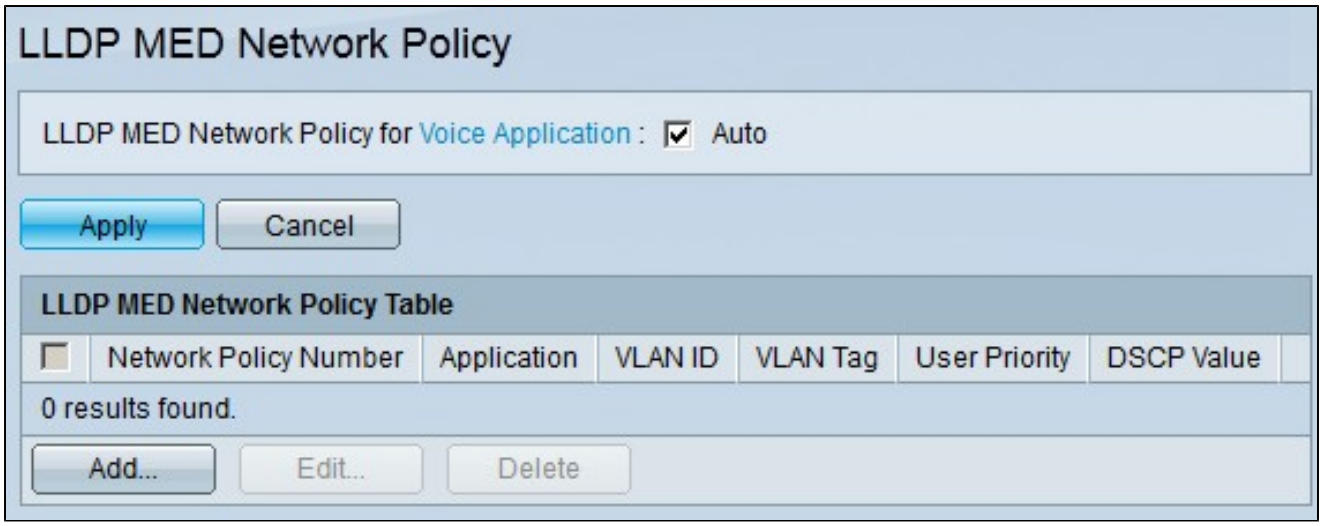
- SF/SG 200およびSF/SG 300シリーズマネージドスイッチ

[Software Version]

•1.3.0.62

LLDP MEDネットワークポリシーの設定

ステップ 1：Web設定ユーティリティにログインし、Administration > Discovery - LLDP > LLDP MED Network Policyの順に選択します。LLDP MED Network Policyページが開きます。

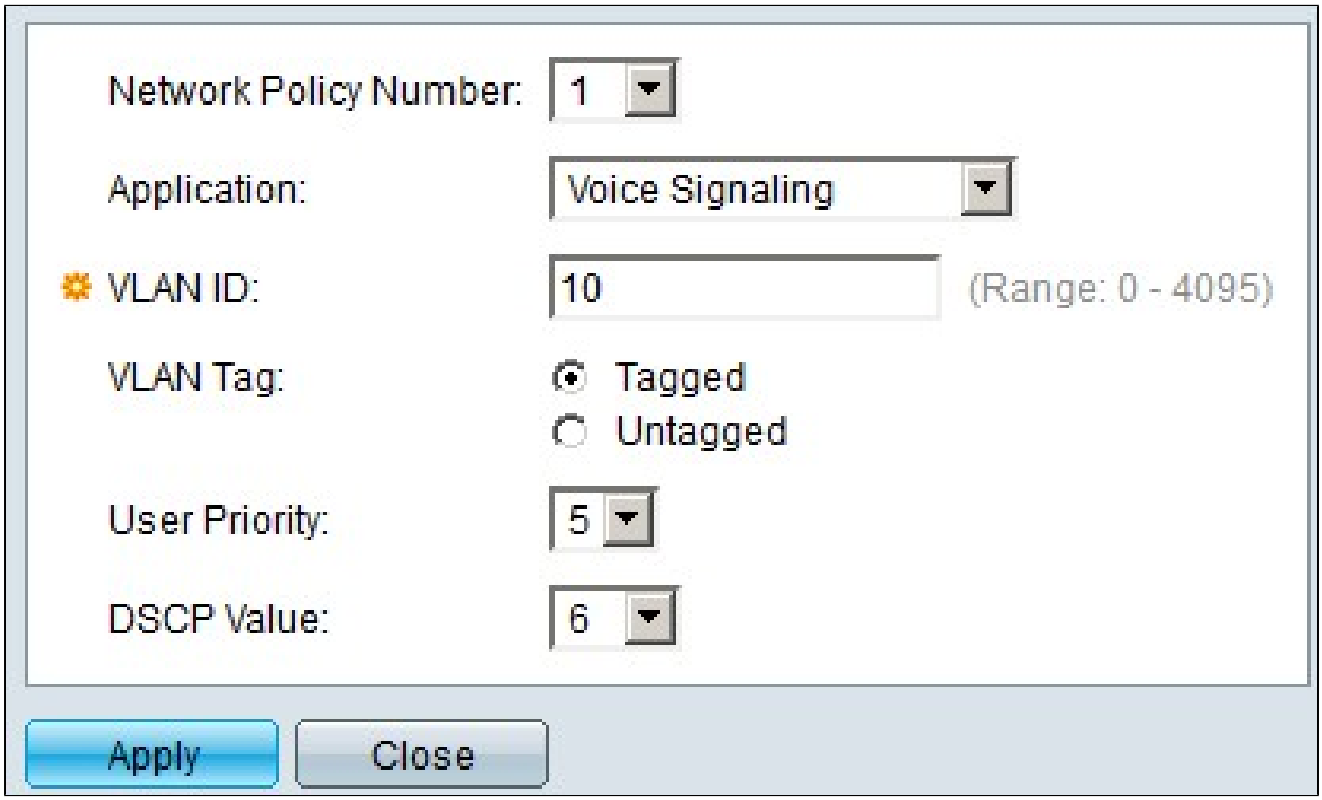


ステップ 2：スイッチで音声アプリケーションのネットワークポリシーを自動的に生成してアドバタイズする場合は、LLDP-MED Network Policy for Voice Applicationフィールドの Autoチェックボックスにチェックマークを付けます。

注:Autoボックスがチェックされている場合、ユーザは手動で音声ネットワークポリシーを設定できません。

ステップ 3：Applyをクリックして、現在の設定を更新します。

ステップ 4：新しいネットワークポリシーを定義するには、Addをクリックします。Add LLDP MED Network Policyウィンドウが表示されます。



ステップ 5：Network Policy Numberドロップダウンリストで、作成するポリシーの番号を選択します。

手順 6：Applicationドロップダウンリストで、ネットワークポリシーのアプリケーションタイプを選択します。使用可能なオプションは次のとおりです。

- Voice：ネットワークポリシーを音声アプリケーションに適用します。

- 音声シグナリング：ネットワークポリシーを音声シグナリングアプリケーションに適用します。

- Guest Voice：ネットワークポリシーをゲスト音声アプリケーションに適用します。

- ゲスト音声シグナリング：ネットワークポリシーをゲスト音声シグナリングアプリケーションに適用します。

- ソフトフォン音声：ネットワークポリシーをソフトフォン音声アプリケーションに適用します。

- ビデオ会議 – ネットワークポリシーをビデオ会議アプリケーションに適用します。

- ストリーミングビデオ：ネットワークポリシーをストリーミングビデオアプリケーションに適用します。

- ビデオシグナリング：ネットワークポリシーをビデオシグナリングアプリケーションに適用します。

手順 7：VLAN IDフィールドにトラフィックの送信先VLANを入力します。

ステップ 8：いずれかのオプションをクリックして、VLAN Tagフィールドの VLANにタグを付けます。使用可能なオプションは次のとおりです。

- Tagged：このオプションは、トランクポートを介して異なるスイッチ間でVLAN情報を渡す場合に使用します。

- Untagged:VLANがアクセスポート経由でのみローカルに使用される場合は、このオプションを使用します。

ステップ 9：User Priorityドロップダウンリストで、このネットワークポリシーで定義され

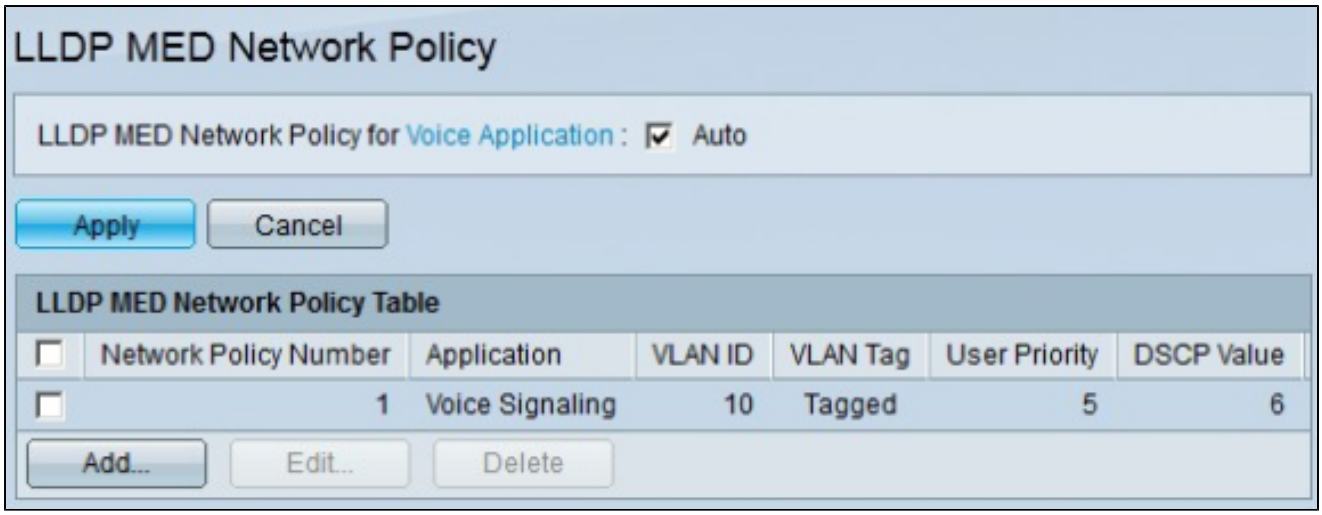
たトラフィックに適用されるプライオリティを選択します。この値は、0 ~ 7の範囲のサービスクラス(CoS)値です。各DSCP値は、ネットワークトラフィックを次のように扱います。

- 0 – 背景。
- 1 – ベスト工フォート。
- 2 – 優れた労力。
- 3：重要なアプリケーション。
- 4 – ビデオ
- 5 – 音声。
- 6 – ワーク間制御。
- 7 – ネットワーク制御。

ステップ 10：Differentiated Services Code Point(DSCP)ドロップダウンリストで、ネイバーから送信されるアプリケーションデータに関連付けるDSCP値を選択します。このDSCP値は、ネイバーによってスイッチに送信されるアプリケーションデータをマーキングするために使用されます。DSCPは、ネットワークトラフィックを管理し、適切なQuality of Service(QoS)を提供します。

ステップ 11Applyをクリックして、設定を保存します。

次の図は、設定後のLLDP MEDネットワークポリシーページでの変更を示しています。



ステオ12.LLDP MEDネットワークポリシーを編集するには、編集するポリシーのチェックボックスをオンにして、Editをクリックします。

ステオ13.LLDP MEDネットワークポリシーを削除するには、編集するポリシーのチェックボックスをオンにして、Deleteをクリックします。

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。